



5月連休中の 体験学習の様子

花巻市博物館では体験学習として、5月3日（金）から6日（月）の間に

- 3日 勾玉づくり
- 4日 琥珀玉づくり
- 5日 縄文弓矢・火起こし体験
- 6日 プラ板キーホルダーづくり

を行いました。

3日は、子ども13名、大人4名の計17名が勾玉づくりを行いました。その他に大人の方9名が、子どもの付き添いとして体験講座室にいらして、子どもが勾玉をつくる様子を見たり、時々手伝ったりしていました。小学校1年生の子や小学校就学前の児童も参加しましたが、その子どもたちも最後まで粘り強く制作に取り組んでいました。



勾玉づくりの様子

4日の琥珀玉づくりは、琥珀玉の材料が勾玉の時よりも堅いようで、自分の作りたい形に削るのに苦労している様子でしたが、最期には胸に自分の力作の琥珀玉を首から下げ、にっこりしていました。



ステキにできた琥珀玉です。



5日の弓矢・火起こし体験には、親子で合計40名の方々が参加くださいました。この日の体験にはお父さんの参加も多く、火起こし体験では、息を切らしながら舞いきり（火を起こすための道具）を動かしている方もいらっしゃいました。



左の写真は、お父さんとお子さんと一緒に的をねらっている様子を撮影したものです。

6日のプラ板キーホルダー作りは、連休最終日ということもあり、参加者が少なく5名でしたが、わきあいあいと楽しく体験を進めることができました。参加者の中には、4日間ずっと参加したというお子さんもいて、開催した側としてうれしく思いました。



プラ板に彩色します。



オーブントースターで熱し、縮み終わったあたりで取り出します。



犬と今年の干支のイノシシのプラ板ができました。親子でツーショット！

体験学習は次の期日に、今年度また開催されます。

花巻人形絵付け体験	7月21日
	3月22日
勾玉づくり	8月11日

琥珀玉づくり	8月12日
プラ板キーホルダーづくり	8月18日

これらの体験の申し込みは、すでに受け付けを行っておりますので、希望なさる方は、博物館までお電話ください。

また、勾玉づくり・琥珀玉づくり・プラ板キーホルダーづくりは出前体験もできます。博物館までお問い合わせください。

令和元年度第1回博・学連携研究委員会を開催しました

5月29日（水）に開催し、昨年度の活動のまとめと、本年度の博・学連携の活動内容について確認を行いました。今年度の活動内容の概要は次の通りです。

1 博・学連携研究委員会の充実

- (1) 小・中学校区をそれぞれ4つに分け、各小学校ブロックと中学校ブロックから1名ずつ委員を選出し、教育委員会の指導主事と合わせ、計9名を委員として委嘱する。
- (2) 研究委員会議の開催
今回：5月29日（水）
次回：2月17日（月）
その他必要に応じて開催
- (3) 博・学連携先進施設研修の実施
10月30日（水）に岩手県立博物館と岩手県立美術館を見学する。
(参加者)

- ・博・学連携研究委員
- ・市内小中学校教職員の希望者
- ・博物館職員

2 学校団体見学学習受け入れの充実

3 体験学習への参加促進

- (1) プログラムのPRをポスターや「ふくろう」で行っていく。
- (2) 体験学習プログラムの見直しを行っていく。

4 出前授業・出前体験学習・出前展示の充実

5 教育資料の貸し出し促進

- (1) 視聴覚資料の紹介・貸し出し
- (2) 縄文土器片の貸し出し

6 博・学連携推進研修会の開催

- (1) 開催日 8月6日(火)
- (2) 時間 13:30~16:45
- (3) 内容
 - ・出前授業形式での研修
縄文時代の暮らし
多田等観
 - ・特別企画展の案内
- (4) 参加者
 - ・各小中学校から1名以上。
 - ・花巻市外から赴任してきた教員に花巻を知ってもらおうというねらいもあるので、花巻市以外から赴任されてきた教員を優先する

7 職場体験学習の受け入れ

- ・2日間の体験を原則として行う。

8 博・学連携だより「ふくろう」の発行

- (1) 毎月1回発行する。
- (2) 博物館の情報や博物館利用の様子、体験学習等のお知らせや博・学連携にかかわる情報を提供する。

先人コーナーが リニューアル

今回新しく紹介している先人は次の3名です

斎藤宗次郎

内村鑑三の弟子となり花巻においてキリスト教徒としての生き方を貫いた人物

後藤清郎

岩手の新聞業界に多大な業績を残した人物

及川全三

「ホームспан」を工芸品にまで高めた人物

Coming soon!

チベット仏教研究者多田等観展が
6月15日(土)から始まります!

